

Nagashima FORUM 21

2018.5.28

VOL. 451

未
来
本
日

「独立宣言」ふたたび

国民一人ひとりが能力を最大限発揮できる社会をつくることこそが、政治の要諦

私がめざす政治の第一は、「中庸」です。すなわち、与野党の違いによって敵対し非難合戦を繰り広げるのではなく、あくまでも国益を基本に据えて、将来世代と生活者を最優先にした政策を実現すること。第二は、「未来に誇れる日本」づくり。我が国の直面する危機の実相を的確に捉え、「未来先取り」で今必要な改革に正面から取り組んでまいります。第三は、「明日への責任」を果たすこと。日本が直面する危機を克服するためには、国民一人ひとりの能力を最大限発揮できる環境をつくり出さねばなりません。私は、眼前に迫る「少子高齢・人口減少・財政悪化」というとてもない課題を克服する力、すなわち、このピンチをチャンスに変える潜在力を、私たち日本人が持っていることを確信しています。

「人への投資」を最大化して、
「何れでも」学び直し、働き直せる社会へ

そのためには、「人への投資」を最大化していくことが肝要です。教育と技術革新こそ課題解決の力基を握っています。AI・ロボット・IT技術の進化は、人口減少による人手不足というピンチを経済成長のチャンスに変える可能性を秘めています。他方、それらの技術によって私たちの仕事の大半は代替され雇用の流動化は避けられず、ますます知識集約型の社会に発展していくでしょう。その中で、「人生百年」を通じて何れでも学び直せる機会を保障することが政治の要諦だと考えます。すなわち、いつでも、「どこ」でも、誰でも、何れでも「学び直し、働き直せる社会」を実現するのです。その上で、我が国が直面する深刻な社会課題を克服するためには、「人口増加・右肩上がりの経済」の下でつくられた年金や医療制度など現行制度全体を根本から見直す必要があります。

東アジアの平和と安定に貢献する
「自立した日本」をつくる

また、激動する朝鮮半島情勢の行きつくその先の「東アジアの将来」を考えた時、戦後70年余を通じて我が国の安全保障の土台を提供してきた日米同盟の在り方そのものも見直しを迫られるでしょう。中国の台頭やインドの勃興は、我が国の国力をはるかに凌駕するような巨大なエネルギーをはらんで東アジアを揺さぶるでしょう。その時、日本は、いつまでもアメリカ頼みでいいはずがないし、国民の間に自立心を涵養しなければ、変転する国際情勢を生き抜くことはできません。

私は、7年余のアメリカ留学の経験と、総理補佐官や防衛省政務(副大臣)および大臣政務官をはじめ15年余の国会議員生活で培った実績を基盤に、与野党の垣根を越えて内政にも外政にも責任を持てる政治家として、後援会の皆さまのご期待に応えられるよう全身全霊全力を傾け国政に邁進する所存です。引き続きご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



衆議院議員
長島昭久

すべては、「未来に誇れる日本」のために

後援会の皆さま、平素より、私、長島昭久の政治活動に対し多大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。昨秋の衆議院総選挙では、突然の解散や選挙区割り的大幅変更にもかかわらず、お陰さまで念願の小選挙区議席奪還を果たすことができ、6期目の国政へと送り出させていただきました。台風接近で激しい雨の選挙戦を共に戦ってくださった後援会の皆さまに改めて深く感謝申し上げます。

振り返れば、昨年4月9日に「独立宣言」を行う以来、私は、一人の政治家として「中庸を旨とする真の保守政治」を基軸にした野党再編をめざして試行錯誤を繰り返しました。ようやく9月27日、小池都知事と共に「寛容な改革保守」の旗を掲げて希望の党の結党にまでこぎつけましたが、結果は大惨敗。それでも、衆議院に51議席を確保し、これを橋頭堡に「未来先取りの日本大改革」を推進していくことと意気込んで今年の通常国会に臨みました。

政治の「二極化現象を克服する」
「中庸」の政治を实践する

しかし、ますます先鋭化する政治の「二極化現象」を前に、民意のど真ん中に旗を立てることに難しさを痛感させられる日々となりました。悪戦苦闘の結果、あることが今年の4月27日、希望の党の所属議員の多くが再び民進党と合流し、新党「国民民主党」を結成することとなり、その結果、希望の党は結党からわずか半年余で解散することとなりました。私は、党執行部の一員として、昨秋の総選挙で1000万票近い比例票を投じてくださった有権者の期待を裏切るような分党にも解散にも反対し続けました。したがって、今回の合流新党の動きとはあくまで一線を画し、再び「独立」無所属議員として再出発することとしたのです。

幸い、今回の野党再編の結果、志を同じくする無所属議員が10名ほど誕生いたしました。その中には、これまで政局の節目節目で政治行動を共にしてきた細野豪志代議士らもあり、今後は、もう一度、与野党にはびこる過激な極論からは距離を置いて、同志の皆さんと共に私自身がめざす政治の真髄を追求してまいります所存です。

▶4面へ続く▶

参加者募集中

国会見学

開催日 6月26日(火)

親子国会見学

開催日 7月24日(火)



お子さんやお孫さんと一緒に
社会科見学しませんか?

- 午前10時 現地集合～13時頃 現地解散
- 参加費：無料(交通費・昼食代除く)
- 申込締切：開催日の1週間前まで
- お申込み：長島事務所の下記連絡先までお願いします

ポスター掲示にご協力ください!



ご自宅の塀、お持ちの駐車場、
空き地、農地などに掲示させて
いただけませんか?

ご協力いただける方は
事務所までご一報ください!

21 www.nagashima21.net @nagashima21

facebook.com/aki.nagashima21

LINE@ を始めました!

ぜひ、長島昭久と友だちになつてください。
ご登録は右記のQRコードから→



長島 昭久 後援会・事務所 <E-mail> tokyo21@nagashima21.net

〒190-0022 東京都立川市錦町2-2-5 アオイビル3F TEL:042-548-2700 FAX:042-548-2711

発行：未来に誇れる日本をつくる会 立川市曙町2-34-6-803(酒井大史事務所内)

ご近所でチラシを配っていただける方を大募集!



選挙期間中に2万1384人の方と
交わした握手が6期目当選の原動力



チケットの高額転売を許さない法規制を！
女優の夏木マリさんなどから実情を聞く



待機児童に悩むママ・パパたちと意見交換



石破茂代議士ほか超党派の議員・有識者と訪米し、討論



議会人として!

無所属での活動を表明。
国会内で記者団の質問に答える

「生活者」第一の議員立法に邁進!

予算委、文科委を舞台に 安倍内閣と論戦!



- 希望の党の政調会長として、今年最大の政治課題だった「働き方改革」政府案への建設的な対策を取りまとめ、国会に提出。
- また「生活困窮者自立支援法」の改正をめぐっては、対案を提出し、生活保護受給世帯の子供たちにも大学進学への道を開きました。

- 各委員会の質疑で総理や各大臣と対峙。
- 安倍首相や河野外相には、北朝鮮に対する圧力一辺倒の姿勢を柔軟に修正するよう迫りました。
- 加藤厚労相には、就学前教育の無償化の前に希望する児童が「全入化」できる仕組みの実現を求めました。
- 林文科相には、前川前事務次官の講演をめぐる文科省による教育現場への不当な介入を厳しく質しました。



毎年恒例の高幡不動尊・諏訪神社での必勝祈願初詣



後援会連合会大会「春を楽しむ夕べ」大勢の方にご参加いただき感謝



政調会長としてNHK「日曜討論」に出演



子どもの貧困対策について
菅義偉官房長官に要請行動



八王子市内のお花見で皆さんと交流



国立市で初開催となった
国政報告会で、通算175回を突破

地元で!



後援会の皆様にお支えいただき、
大接戦の末、悲願の小選挙区奪還を果たし、
歓喜の「バンザイ!」



雨の国立駅頭での活動報告



国立市内の「子ども食堂」を見学



多摩市のお祭りに浴衣でお邪魔をしました



諏訪神社の例大祭でお神輿を担ぐ



日野市ななおBONまつりで太鼓を叩く



稲城市の若葉台駅頭で朝のご挨拶



後援会の皆様と共に!

選挙戦の初日、立川駅南口での出陣式で氣勢を上げる